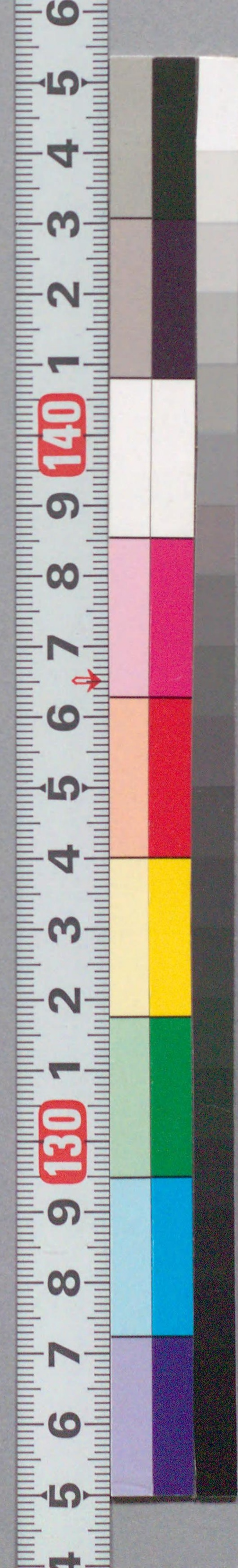


国立国会図書館 勇略女教訓：5巻 207-612



ガラス使用

文化五

花

志郡は白米の城跡と云ふ事あり昔は
 北白の威勢さうんやうと憎え後
 武將義政公北白の威勢さうんやうと憎え後
 の流るひとあやむ古又と詞をいひて急智政代下とて
 大軍とさし向らる満政方への清代身願のもの大
 勢月細身とされ防ぐ足利勢つる小お負
 計畧よかりて追ひぬさる此時白米の城跡名
 つらるる白米の城跡と始りて北白志の
 真八磨ありしを記して児女の天能をもちひく
 まくのりし于時文化戊辰春正月
 萬戸邑の 偶居にあつて 十返舎一九志真 齋

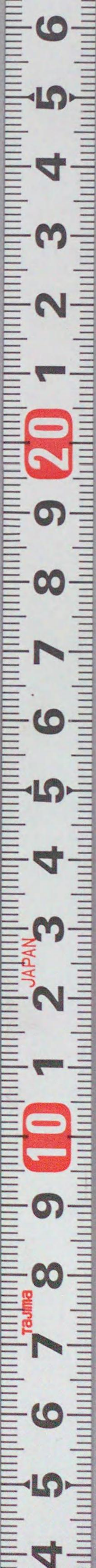
子やうし

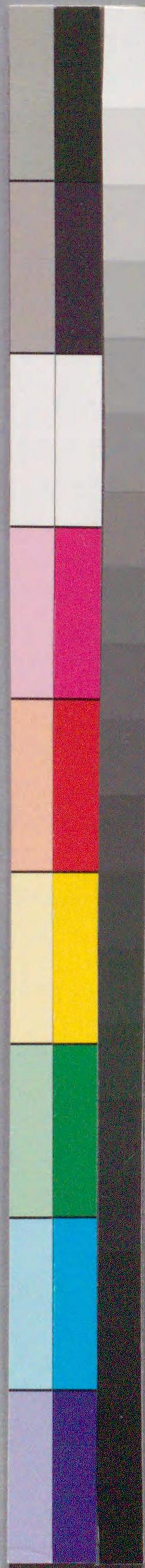








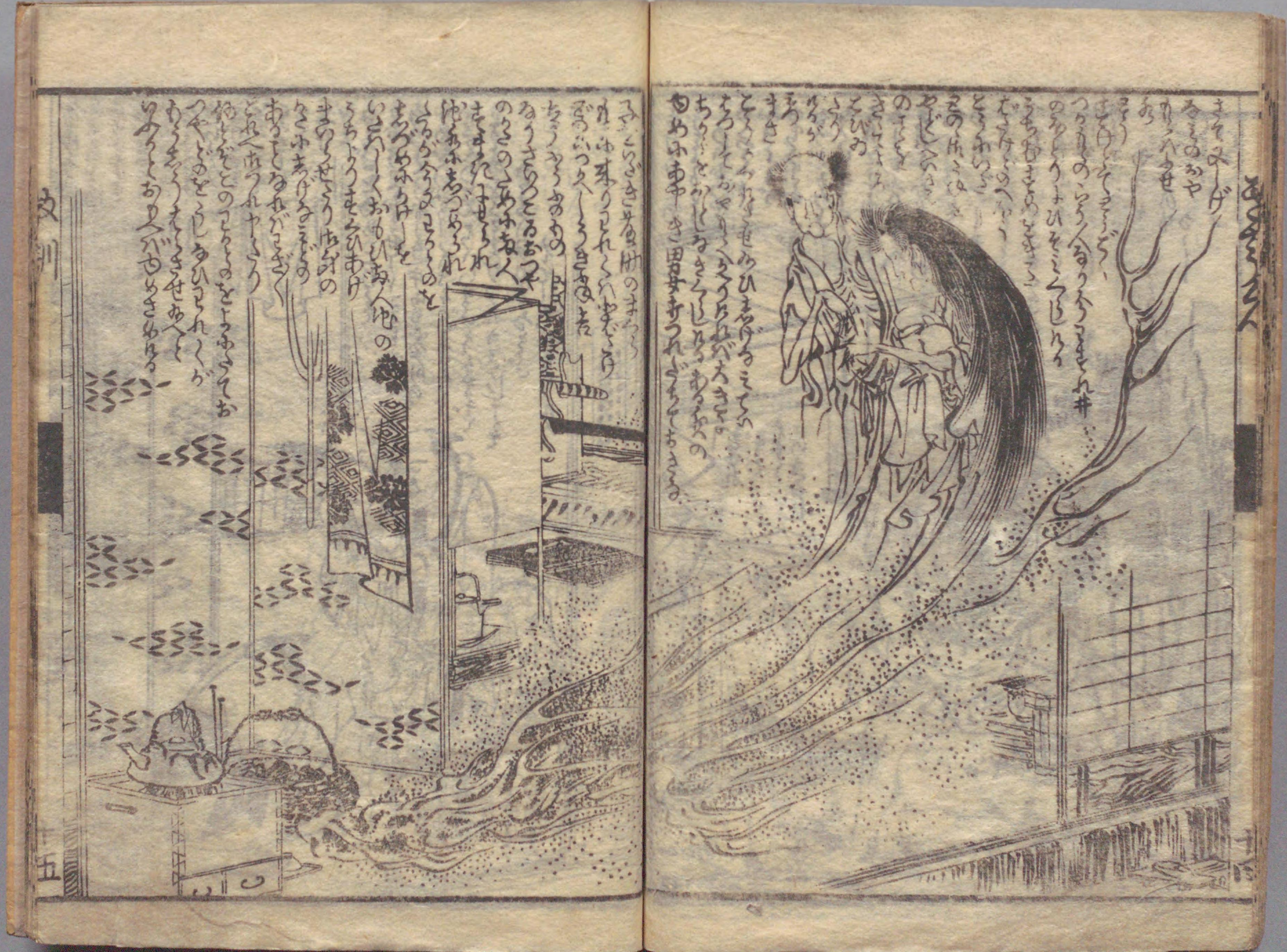
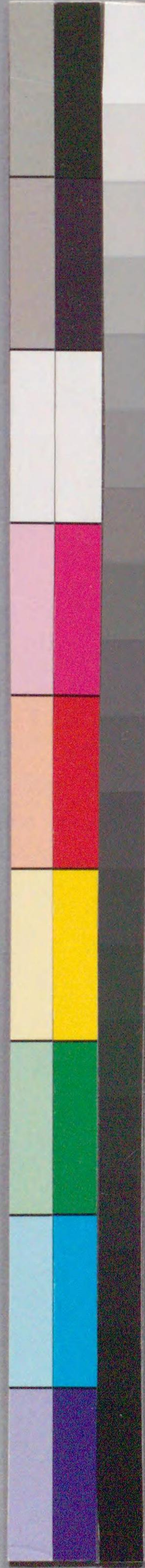












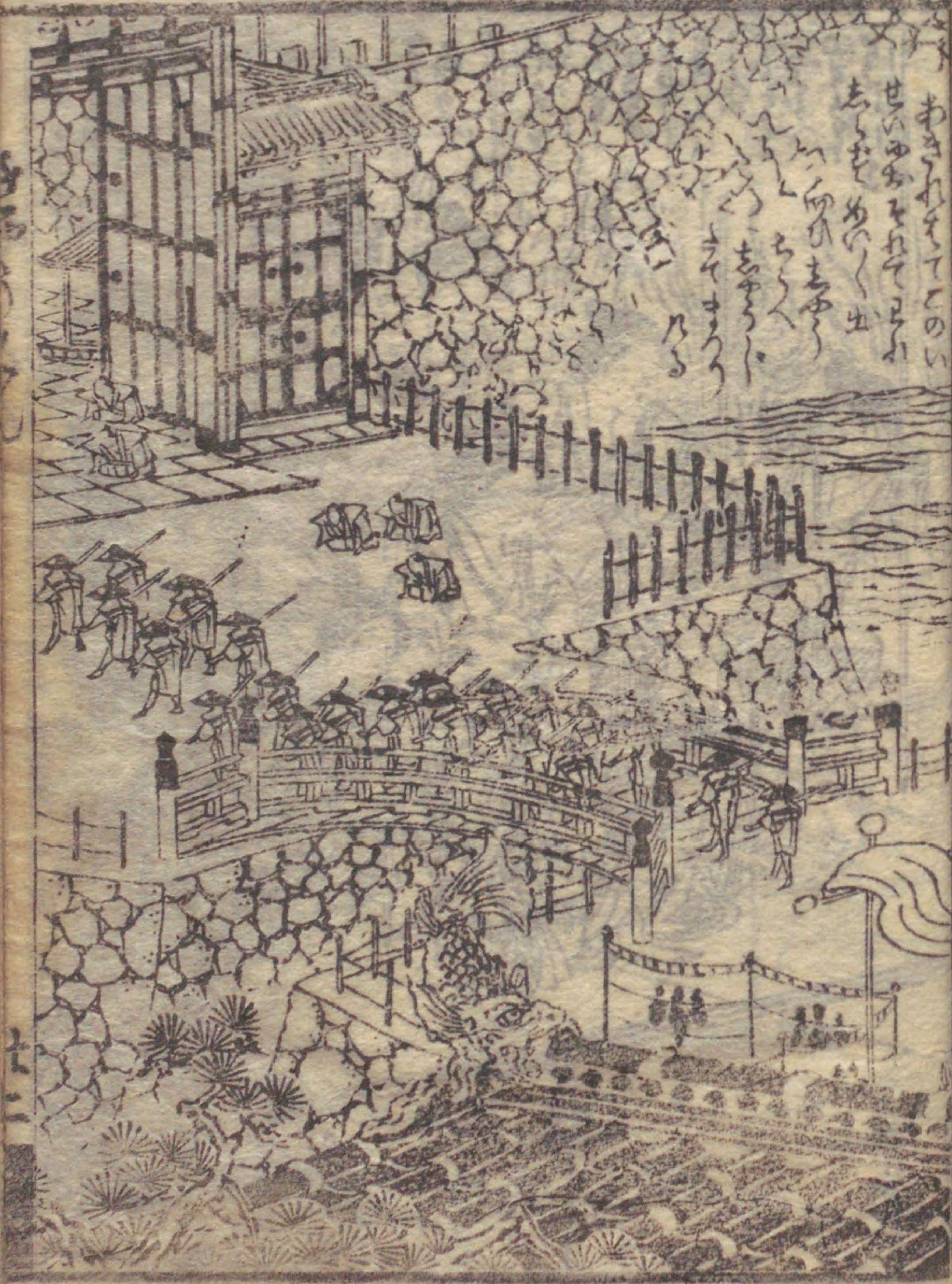
さるるえさげさき
 まつげんてんせんまづ
 けさうごうて若ぬを
 さんごふてまもや
 させらるこのていん
 りんさくこんげん
 げんのもいふ
 上のりるふ
 このふくかこ
 りんめいん
 もあしてつじ
 りんげんせい
 つまねがぬ
 てもまぬ
 わりてい
 ずんごん
 のうちん
 さんまや
 しんご
 久のき
 ようき
 ところ
 つけら

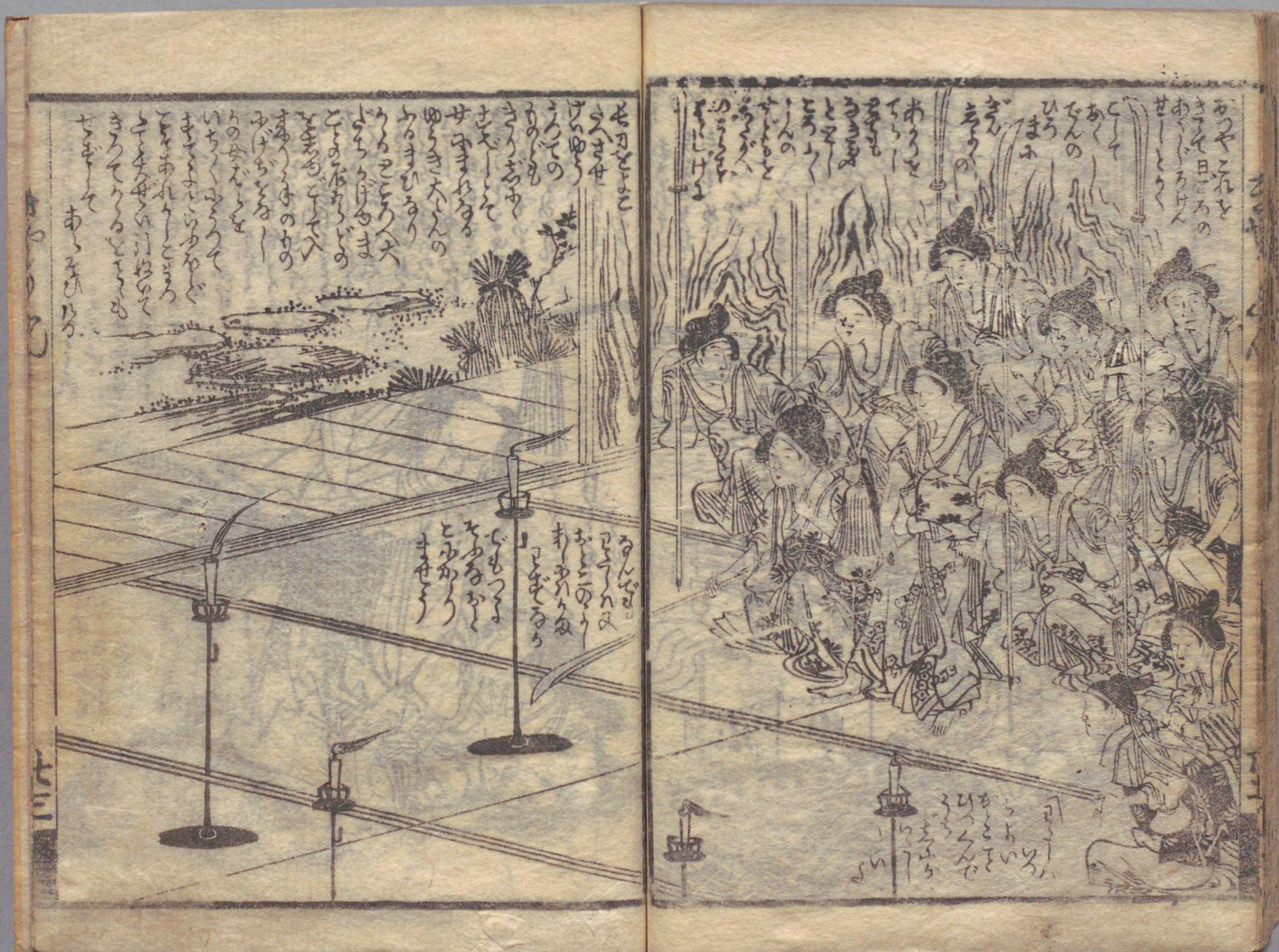


まいりてはまの
 あつち
 のま
 くらめ
 おくふ
 ぎは
 のあり
 かのま











207
612

大勝

北昌
大勝亮
満良

ものぬのろも
うろよね
御代

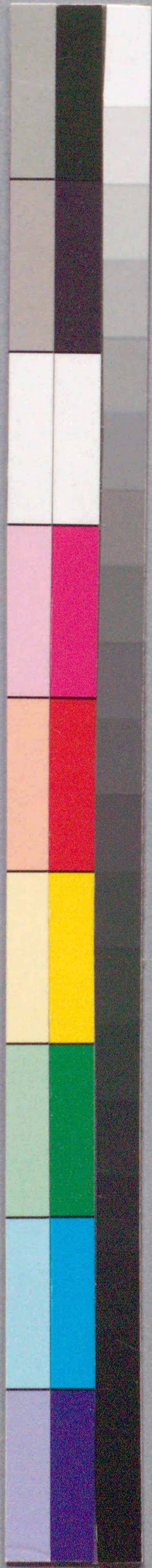
花山寺
兵庫頭
匡生



十返舎一九著

東洋人
北昌





国立国会図書館 勇略女教訓：5巻 207-612



ガラス使用

